

# 予防接種（ワクチン）をうけよう！



予防できる感染症は予防接種（=ワクチン）をうけて予防し、子ども達を感染症から守りましょう。生後2か月から予防接種が開始（ワクチンデビュー）できます。小児科のかかりつけ医の先生と相談して、計画的に予防接種をうけていきましょう。

詳細は右記サイトをご覧ください。

**KNOW☆VPD!**  
 ワクチンで防げる病気（VPD）を知って子どもたちの命を守る  
<http://www.know-vpd.jp/>

★ママの声★  
 慣れない赤ちゃんとの暮らしだから、ワクチンデビューの生後2か月なんて、アツという間にやってきました。『こんなにたくさん予防接種ってあるの〜!』とビックリ。オロオロしてたら、たいへんです。かかりつけ医を早く決めて、早めに相談したほうがいいですよ。★

# 乳幼児健診



市町の保健センターでは、地域のすべての子どもを対象として、乳幼児健診を行っています。乳幼児健診の診察も乙訓地域の小児科の先生方がされています。乳幼児健診は身体の診察や成長の確認はもちろんですが、お子さんの心配ごとを保健師などに相談できる機会です。また、同じ子育て世代とのつながりができたり、子育て支援サービスなどの情報を得る機会にもなります。

子育て相談窓口		
<b>向日市</b> 健康推進課 ☎075-931-1111(代表)	<b>長岡京市</b> 健康医療推進室 ☎075-955-9704	<b>大山崎町</b> 健康課 ☎075-956-2101(代表)

★ママの声★  
 身長・体重がはかってもらえる機会なので、とても楽しみでドキドキしながら健診に行きました。たくさんの同じ月齢の子やママが来ていて、初めての「ママ友」ができました。★

## 日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール (2016年10月1日版 日本小児科学会)一部抜粋

[http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/vaccine\\_schedule.pdf](http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/vaccine_schedule.pdf) 詳細については日本小児科学会ホームページをご確認ください。  
 ※(注1)～(注13)についても、上記日本小児科学会ホームページをご参照ください。

ワクチン	種類	乳児期										幼児期					学童期/思春期						
		生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	不活化			①	②	③						④	(注1)										
肺炎球菌(PCV13) (注2)	不活化			①	②	③						④		(注2)									
B型肝炎(HBV)	ユニバーサル(注3)			①	②																		(注4)
	母子感染予防	①	②																				
ロタウイルス	1価			①	②																		(注5)
	5価			①	②	③																	(注6)
ジフテリア、百日咳、破傷風ポリオ(DPT-IPV,IPV) (注8)	不活化			①	②				③			④	(注7)										(7.5歳まで)
BCG	生						①																
麻しん、風しん(MR)	生											①											②(注9)
水痘	生											①		②									(注10)
おたふくかぜ	生											①											②(注11)
日本脳炎	不活化																①	③				(7.5歳まで)	④ 9-12歳
インフルエンザ	不活化																						① 13歳より
二種混合(DT)	不活化																						① 11歳
ヒトパピローマウイルス(HPV)	不活化																						(注12) 小6
																							中1 ①②③(注13)
																							中2-高1

定期接種の推奨期間
  任意接種の推奨期間
  定期接種の接種可能な期間
  任意接種の接種可能な期間
  添付文書には記載されていないが、小児科学会として推奨する期間
  健康保険での接種時期